

ラマダン月のテロにご注意ください【2022年4月】

4月1日（金）頃から4月30日（土）頃までは、イスラム教徒が日の出から日没まで断食を行うラマダン月に当たります。毎年、このラマダン月前後に世界中でテロが多発しているのをご存じでしょうか。以下、ラマダン月にイスラム過激派によるテロが起こりやすい理由やテロ対策について説明していきます。

【ラマダン月にテロが起こりやすい理由】

一般的には以下の3点が指摘されています。

(1) ラマダン月はイスラム教徒にとって聖なる月であり、信仰心が高まる中、異教徒を攻撃することを善行とするイスラム過激派がテロに走りやすい。

(2) ラマダン月中の寄付は功德が高いとされ、多くの寄付が集まる中、イスラム過激派の活動資金も集まりやすい。

(3) ラマダン月はイスラム教徒がモスク（イスラム寺院）に集まる機会が増え、説教者の話を聞く機会が増える中、過激思想を持った説教者からこの思想を刷り込まれる可能性がある。

【テロ対策について】

以上を踏まえて以下の安全対策をとるように心がけてください。

(1) 当館ホームページや領事メール、外務省海外安全ホームページ、報道等を通じて最新の関連情報の入手に努める。

○外務省海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

(2) イスラム教徒の集団礼拝日であり、その際に宗教施設や群衆を狙ったテロが発生しやすい金曜日に特に注意する。

(3) 観光施設やその周辺、イベント会場、レストラン、ショッピングモールなど人が多く集まる場所はテロに狙われやすいことを認識し、やむなくこれらの場所を訪れる場合はあらかじめ非常口等の避難経路を確認し、周囲の状況に注意を払う。

(4) 有事の際には、現地当局の指示に従い、冷静に行動する。

【最後に】

過激思想を持ったイスラム教徒はごくわずかであり、大多数のイスラム教徒はイスラムの教えを忠実に守りながら当地の社会に適応しようとする善良な市民です。これを十分理解し、断食中の彼らの前では飲食を控える、喫煙をしないといった配慮を行うなどお互いを尊重するようにしてください。